

私達が取り組む簡素化運動
— 島野浦の心を一つに —

島浦町漁協女性部
部長 浜田 真由美

1. 地域・漁業の概要

島野浦は、延岡市の沖合 12km に浮かぶ周囲約 15km の島で、海岸線はリアス式を呈し、ほぼ島全体が日豊海岸国定公園に指定されている所です。人口 1,354 人。中型旋網漁業を主幹とし、養殖、マグロ延縄、小型漁船漁業などの各種漁業と、陸では水産加工業、大型冷蔵業が営まれている純漁村で、島全体が、漁業あるいは漁業者と密接な関係にあります。

所属する島浦町漁協は、正組合員 367 名、准組合員 23 名、平成 15 年度の水揚高は 32 億 8 千万円となっております。

2. 研究グループの組織と運営

女性部は、昭和 32 年 11 月に設立され、現在、部員は 193 名、部長 1 名、副部長 5 名、監事 2 名、班長 23 名で構成しています。定例会としては、年 1 回の定期総会、毎月 1 回の役員会、年 3 回の班長会を開催しており、日頃は、毎月 17 日、25 日の積立貯金の集金、週 1 回のいきいき健康体操の実施、地域行事への参加・支援、そして簡素化運動には特に力を入れて活動しております。

3. 研究・実践活動取組課題選定の動機

私が部長を引き受けたのは平成 13 年 4 月でした。この年は、2 年に 1 度の漁家世帯を対象とした生活意識調査が実施される年でした。冠婚葬祭の簡素化やお見舞返しの廃止は、私達女性部が「簡素化への取り組み」を島浦町区に申し入れ、平成 6 年の区総会で決議されて以来、随分徹底されてきました。しかし、調査結果は、相変わらず、交際費が家計費のトップという内容で、半数以上の人々が、まだまだ簡素化を望んでいるというものでした。生活費よりも交際費が高つくという声も聞かれる等、更なる簡素化への取組強化を痛感させられた次第です。

4. 研究・実践活動状況及び成果

私が、こうしたことを、身を持って実感する出来事がありました。平成 13 年の秋、不注意から足を怪我し、入院することになったのです。島の人は情が厚く、人様に何事かあるとすぐ駆けつけて下さいます。「お見舞いのお返しはしない」という申し合わせはありましたが、金額の取り決めは無く、多額のお志を頂いた方に、このままでは申し訳がないという気持ちががしました。私自身が当事者になったこの時の悩みを、14 年度の女性部総会において打ち明け、簡素化について、更なる具体策の協議を提案し、女性部の考

えを整理しました。内容は、

- ①葬儀における行事の簡素化と金額の申し合わせについて
- ②見舞い金額の取り決めとお返し廃止の再確認について
- ③新入学児童への入学祝いについて

等となりました。こうした申し合わせは、最初から島内全体での協議が必要だということで、総会終了後、役員の皆さんと区の事務所を訪問、女性部の考えに理解を頂くと同時に、島内の各団体との会合をお願いしました。

平成14年6月、離島センターにおいて、高齢者団体の老成会、ボランティア組織の福祉推進チーム、さらに、小・中学校PTA、婦人会、私達女性部と島浦町区の7団体、総勢30名が出席して協議会が開催されました。話し合いは、夕方7時半から3時間にも及ぶ熱心なものとなりました。

お葬式は、島野浦独特の伝統風習に乗っ取り、終えんにふさわしく、それは厳かな中にも盛大に催されています。以前は、お通夜のお包みが多い方には、魚ずし、バラずし、煮豆の3点セット又は、お砂糖とお菓子が配られていました。葬儀の加勢の人も、30名から50名にもなり、この加勢の人たちの食事作りも大変なものでしたので、葬儀における風習の見直しと、精進揚げまで呼ばれた方の香典と、お通夜参列のお包みの金額などについて決定しました。

お見舞いのお返し廃止は徹底されていましたが、再確認するとともに、「お返しをしないのだから見舞い金額についても取り決めがあった方がよい」という意見が大半で、新たに金額を取り決めました。

入学祝いについては、小さなお子さんを持つ若いお母さん方からは「是非、島で取り決めをして下さい。」と賛同の声が上がる一方、お姑さん方からは、「今までお返しを貰ってきたのに、うちがしない訳にはいかない。」といった意見も出されましたが、結局、祝い金額は3,000円とし、お返しはしないことと決定しました。

長時間にわたる協議で、賛否両論、色々な意見が飛び交いました。私達女性部役員は、自分達の意見を述べながらも、落ち着いた気持ちでしたが、女性部の考えが大方認められる形で、話し合いは終了することが出来ました。

この日、決定された申し合わせ事項は、区から全戸に通知してもらうことにし、平成14年7月、7団体連名による「ムダとミエをなくす諸行事の簡素化について」とまとめられた文書が、町内30組ある組長さんを通じて、全家庭に配られました。その際、折角なら女性部で取り扱っている「お返し廃止用のし袋」をPRして欲しいとお願いしたところ、区と漁協の費用で、祝い用・悔み用・お見舞い用をそれぞれ2枚ずつ、文書と一緒に配ってもらうことが出来ました。このご好意に対し、簡素化への思いは誰もが同じだと、力強く感じさせられた次第です。

島内7団体による簡素化への取り組みが協議されて、2年が経過しました。私達女性部は、島野浦へ簡素化運動を発信させたトップランナーとして、常にその監視役でなければならないと思っております。

取り決めや申し合わせをより徹底させるため、盆時期と年末・年始時期の年2回、女性部で取り組んでいる「ムダとミエをなくす運動」特別推進月間と、3月の入学時期に合わせ、お中元や初盆、お歳暮などの簡素化を呼びかける文書を島内に回覧しています。

この時期が近づくと「回覧を早く回して下さい。」「簡素化について話をしに来て下さい。」との要望も増えており、各家庭での簡素化に対する考えは、以前よりも確実に変わってきていると実感しております。事実、家計費の節約に助かっていると、大きな声が挙がっております。

5. 今後の課題や計画と問題点

しかし、まだまだ取り組まなければならない事例は沢山あります。離島センターを利用したお葬式の取り組み、花輪や生花について、誕生祝や、節句祝のお返し廃止等など、冠婚葬祭の行事は際限がありません。広く意見を聞くアンケートの必要性を強く感じているところです。

また、女性連では、漁船海難遺児を励ます運動の一環として、お返し廃止募金をすすめています。この運動に、負担にならない金額を設定して、参加出来ないものかと考えているところです。

一方、女性部は簡素化運動とは別に新たな取り組みを開始しております。昨年4月、漁協が生活物資を取り扱う『ふれあい館』をオープンさせました。オープンを前に漁協から、「地元ならではの品物を置きたい。女性部で対応できないか。」と依頼があり、加工グループを設立、現在、旧役員8名で、島野浦の特産品である「揚げ身」を作って『ふれあい館』に置いております。

当初、ボランティアでの活動でしたが、新聞や雑誌に取り上げられ、固定客も出来、遠くは大阪から県内では延岡、宮崎から定期的に注文がくるようになっており、今では時給600円以下ですが、賃金を支給することが出来るようになっております。

しかし、常時作っている訳ではありません。グループの方たちは、地元の加工場に勤めている関係で、人手が足りなくなることもあり、人員の確保、加工品内容の充実等、今後どのような運営体制にしていくか課題となっております。

島野浦は、離島ということもあって、人と人の結びつきが強く、独特の伝統、風習があります。昔の良さは守りながらも、簡素化には取り組んでいかなければなりません。そして、島野浦を盛り上げる特産品作りにと、女性部の役割は、ますます大きくなっております。これまでの簡素化の取り組みが比較的うまくいった大きな要因は、他の団体等にも呼びかけ、それこそ島全体での取り組みに出来たからだと思っております。

島野浦（しまんだ）のみんなの心を一つに合わせる簡素化運動…これが私達の願いです。これからも、時代の流れに対応出来るよう、更なる簡素化へ向けて知恵を出し合い、また、新たな取り組みで島を、島の漁業を、生活を支えていきたいと思っております。

平成14年7月5日

区民の皆様へ

島 浦 町 区
漁 協 婦 人 部
婦 人 会
福 祉 推 進 チーム
老 成 会
小 中 学 校 P T A

ムダとミエをなくす諸行事の簡素化について

1、葬 儀

- センターである場合も谷宗でしている形式にする
- 加勢は頼まれた人のみとする
- 包みは10,000円とする(親子、兄弟は別)
- 砂糖、すし廃止
- お菓子も数を少しにする(10個程度)
- 通夜の包みは1,000円を守る(親子、兄弟は別)
- 通夜のお返しは廃止

2、見 舞 金

- 3,000円以下(親子、兄弟は別)
- お返しは廃止

3、入 学 祝 い

- 小学校の入学祝いは3,000円とする(親子、兄弟は別)
- お返しは廃止(小学、高校、大学)

4、お祝い、通夜のビールは廃止(親子、兄弟は別)

回至 覧急 区民の皆様へ

お中元、新盆の時期となりました。

婦人部での決まりは、毎年守られて良い方に向かっている様ですが、特に今年は、漁業不振で大変厳しい状況ですので、お互いに「ムダとミエ」を無くし贈って喜ばれる気配りを大切にしましょう。

区民の皆様の御協力、よろしくお願い致します。

新盆のお供え

- 1,000円 (親子、兄弟は別)

例えば 品物で砂糖だけでは少ない様な気がして線香をつけると1,000円以上になるので

- ちょっと心ばかりのお供えをしたい時は
砂糖3k程度とする

島浦町漁協婦人部

至
急
回
覧

区 民 の 皆 様 へ

平成14年12月18日

お歳暮の時期になりました。

「ムダとミエ」をなくす諸行事の簡素化については、各種団体
で、決められた通り守られ、良い方向に向かっている様です。

今年は特に厳しい経済状況ですので、お互いに「ムダとミエ」
を無くし、負担のかからない、贈って喜ばれる気配りを大切に
しましょう。

区民の皆様のご協力をよろしくお願いいた
たします。

島 浦 町 区
漁 協 婦 人 部
婦 人 会
福 祉 推 進 チ ー ム
老 成 会
小 中 学 校 P T A

区民の皆様へ

至急 回答

平成15年3月1日

入学の時期になりました。

「ムダとミエ」をなくす諸行事の簡素化については、各種団体で、決められた通り守られ、良い方向に向かっている様です。お互いに「ムダとミエ」を無くし、負担のかからない、気配りを大切にしましょう。

※ 入学祝 3,000円以内(親子、兄弟は別)
お返しは廃止(親子、兄弟も)

区民の皆様のお協力をよろしくお願いいたします。

島 浦 町 区
漁 協 婦 人 部
婦 人 会
福 祉 推 進 チ ー ム
老 成 会
小 中 学 校 P T A